



2

1 台風（平成 29 年台風 21 号）により道路が冠水。夜間かつ、足元が見えない危険な状態となっていました 2 令和 2 年 7 月、町職員を対象に、コロナ禍での避難所開設・運営などを想定した訓練を実施し、コロナ禍における大規模災害対応への認識を深めています



特集

コロナ禍の中、襲い来る…

災害に備えよう

1

コロナ禍の中、いつ起こるかわからない災害…田原本町は、昭和 57 年・平成 29 年の台風、昨今の局地的大雨など、特に水害のおそれがある地域であり、感染防止を考えつつ備えていく必要があります。今回は「災害に備える」ためのさまざまな情報をお届けします。

図 防災課安全防災係 ☎ 34-2059

1. 日ごろからの備えを

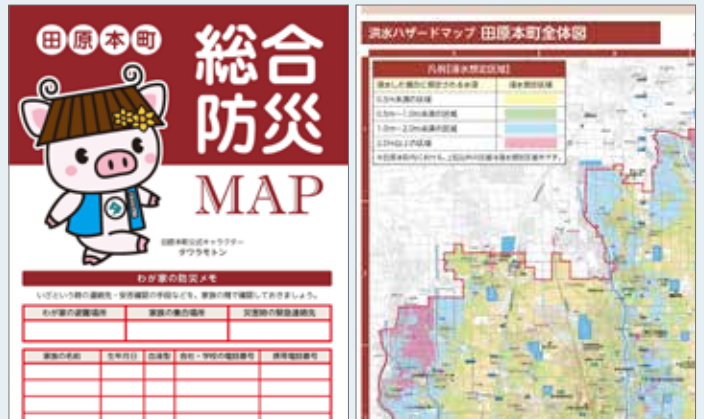
● 事前にハザードマップで危険個所の確認を

お住まいの地域や、職場や学校などがある地域にどんな危険が潜んでいるかを、町総合防災マップ掲載の洪水ハザードマップなどで確認しておきましょう。

田原本町総合防災マップ



町総合防災マップには、ハザードマップをはじめ避難などに役立つさまざまな情報が掲載されています。



広報たわらもと



令和 2 年度 9 月号特集では、避難時に必要なものや、災害情報を入手できる手段などを紹介しています。

● 非常時に備えた備蓄など、事前の準備を



災害に備えた備蓄など、災害対応には事前の準備が大事です。

町総合防災マップや、広報たわらもと奇数号掲載の「今やろう！防災アクション」コーナー、同紙令和 2 年度 9 月号特集などが参考になります。

2. マイタイムラインを作成しよう

● マイタイムラインって？

住民の皆さんそれぞれが、水害に備え行動を整理し時間軸にまとめるオリジナル避難行動計画です。

「いつ」「何を準備して」「どのタイミングで」「どこに逃げるか」を明確にし、家族構成や生活環境に応じた計画をたてることで、いざという時の行動に役立ちます。



▶町では、マイタイムライン作成のための様式を用意しています。この記事を参考に、ぜひ作成してください。



3. 地域の活動を知ろう

● 自主防災組織について

自治会など地域住民が協力して結成している組織で、日ごろから防災・防犯などに関する活動を行っています。

町内では、令和3年時点で78団体が結成されています。

Interview 阪手西自主防災会



地震、水害など、災害の脅威に対して地域の防災組織は重要な存在です。私たちも平成27年8月に活動を開始し、防災・防犯の啓発、人員や物資の確保、連絡体制・防災計画の整備、また地元のコンビニと救援物資に関する協定を締結するなど、災害に備え活動しています。

こういった取り組みを広げ、継続するには、地元住民の皆さんのご協力、そして行政との連携が必要不可欠。皆が協力し合うことで、より強固な「防災」につながると考えています。

1 阪手西自主防災会のタイムライン（防災行動計画）案。行政・自主防災会・地元住民の皆さんの動きが時系列にまとめられています 2 防災倉庫には炊き出し用具など非常時に必要な物資が備蓄されています 3 避難完了の周知として、避難時に黄色のタオルを玄関などに掲示するようお願いするなど、防災意識の向上に取り組んでいます。また、自治会員に防災ガイドブックを配布しています



町では、自主防災組織の設立、取り組みについての支援（資機材購入の助成など）を行っています。詳しくは防災課へお問い合わせください。

4. 避難する時は～台風・雨などの情報に注意しよう～

●災害発生…避難行動について

災害発生時、危険な場所にいる人は避難することが原則です。
「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

避難行動で、知っておくべき5つのポイント

- 1 避難とは「難を避ける」こと。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。
- 2 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 3 避難所では、マスク・消毒液・体温計が不足する場合があります。できるだけ自ら携帯してください。
- 4 田原本町が指定する避難所があります。事前に、町の総合防災マップやホームページなどで確認してください。
- 5 豪雨時の屋外移動は非常に危険です。やむを得ず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況を十分確認してください。



●台風・雨などの情報を入手しよう

安全な避難行動には、災害状況、避難所など情報収集が必要です。ここでは、情報収集に役立つサービスを一部紹介します。
(テレビやラジオの情報もご活用ください)

安心安全メール

町内に災害が発生したとき、また発生しそうな場合などに、関係情報を迅速に、パソコンや携帯電話に配信します。



- 利用には登録が必要です。(登録は無料)

※情報配信の条件や、登録の方法は、町ホームページをご覧ください。



配信される情報
・気象警報情報
・地震情報
・台風情報
・避難情報 など

停電情報アプリ「関西停電情報」

関西エリアの停電情報が配信されます。お持ちのスマートフォンでご活用ください。



Yahoo! 防災速報

台風などの災害情報や、避難場所の開設情報などがプッシュ通知されます。お持ちの携帯電話やパソコンなどでご活用ください。



災害電話サービス

防災無線について、その内容が聞き取りにくい人や、聴覚障がいのある人にも確認しやすいよう、無線の内容を固定電話や、FAXに伝達します。

※利用には事前登録が必要です。詳しくは町ホームページをご覧ください。お問い合わせください。



5. 避難所について～コロナ禍における対応～

町では、避難所における新型コロナウイルス感染症などの拡大を防止するため、運営にあたり3つの段階にわけて対策を行います。

なお、避難所運営が長期化する場合は、自治会や自主防災組織と連携し、自主運営体制の構築に努めます。

● 運営における3つの段階

① 平時の事前準備

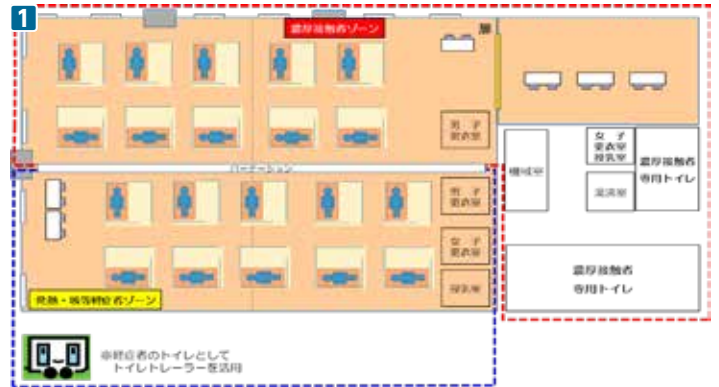
- マスク、消毒液など感染症対策に必要な物資の準備
- 感染防止のための避難所レイアウト作成
- 検温・問診を行う受付の準備 など

② 避難所開設時

- 感染防止のための避難所レイアウトに基づいた設営
- 濃厚接触者、発熱・咳などがある者の隔離
- 避難者への感染症対策の注意喚起 など

③ 避難所運営時

- チェックシートなどを活用した避難者の体調管理
- 保健所や県の相談窓口との連携による緊急時の対応
- 感染症対策の徹底・継続 など



① 避難所レイアウトの一例（濃厚接触者などの避難所）。パーティション設置や、養生テープ貼り付け・間仕切りなどでの居住スペース区画分けによる避難者同士の間隔確保など、さまざまな方法で感染防止を図ります



② 令和2年7月の訓練では、コロナ禍に応じた、避難所での居住スペース区画表示や検温・問診などの受付対応などが行われました

6. より防災への理解を深めていくために・・・

eラーニング教材で、防災について学び、共有しよう

気象庁ホームページにて公開されている、eラーニング教材「大雨の時にどう逃げる」では、台風・豪雨から自らの命を守る基本的な知識・とるべき行動を学べます。

学んだ内容を、家族や友人など身近な人と共有し、特集の内容と併せて防災への理解をより深めていきませんか。



インターネットで

気象庁 eラーニング

を 検索

● 気象庁 eラーニング教材について

避難行動の基本知識を学び、その内容をもとに作成したワークシートを身近な人と共有しあうことでより防災への理解を深められます。段階を経て学べる内容となっており、マイタイムラインを作成する参考としても活用できます。



出典：気象庁ホームページ・eラーニング「大雨の時にどう逃げる」
(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>)